

夏祭り♪

郷土の音色に心が踊る



晴れ舞台に向けてお囃子の練習に励む市内の子どもたち

地域の伝統文化が躍動

本格的な夏の訪れとともに、あきる野夏まつりをはじめとして、納涼盆踊り大会や祭礼などの夏の恒例行事が各地域で開催されます。市内には、お囃子や獅子舞、神楽などの伝統ある郷土芸能が数多く引き継がれています。伝統芸能を引き継ぐ人たちが、こうした行事は、1年間積み重ねた練習の成果を披露する晴れ舞台です。大人も子どもも、世代を超えたその自信に満ちた演技が、たくさんの人たちに心の安らぎと元気を与えてくれます。



たゆまぬ努力と
世代の融合

市内には、伝統ある郷土芸能が引き継がれています。お囃子、獅子舞、棒使い、神楽、農村歌舞伎など種類も様々で、伝承活動をしている団体の数は、40団体を超えます。地域のお祭りやイベントで、これらの伝統芸能の勇壮な姿を目にすることができ、その中には江戸時代からの長い歴史を持つものも数多くあります。私たちが祭りなどで目にする場面は、実は伝承活動のほんの一コマです。素晴らしい演技の裏には、日々の練習や道具の手入れなど、伝統を引き継ぐ人たちの、たゆまぬ努力の積み重ねがあります。それぞれの地域では、子どもから大人まで、一緒にやって一生懸命に練習を繰り返している。伝承という場での世代を超えた交流は、子どもたちにとって学校では味わえない緊張と、地域の人たちとのつながりをもてる大切な時間です。

晴れ舞台の夏の
恒例行事が目白押し

夏も盛りを迎えて、市内の各地域では、夏からの恒例行事に向けた準備が着々とすすんでいます。あきる野夏まつりをはじめとして、各地域の納涼盆踊り大会や、二宮神社、岩走神社や阿伎留神社の祭礼などに代表される数多くの行事がにぎやかに開催され、暑さに負けない明るく力強い掛け声が、今年も地域を元気にしてくれそうです。伝統芸能に取り組む人たちにあっては、いよいよ日ごろの練習成果を披露する晴れの舞台。大人も子どもも、本番に向けた練習に、一層熱が入ります。

地域の元気が
明日への力に

今年の夏は、日本中で生まれるこの「元氣」が地域を元気づけ、地震で被災した東北地方の人たちを支えるために必要な力を生み出します。被災地の復興に向けて、「想いはひとつがなばろう！日本」。問合せ
・伝統芸能に関する問合せ係：生涯学習推進課文化財係

世帯と人口

— 平成23年 7月1日現在 —

世帯 33,400世帯

人口 81,873人

(前月比 106人増)

男 40,984人

女 40,889人

8月の市民相談（予約制）

- 市役所
- ・不動産取引相談... 5日
- ・税務相談... 8日
- ・法律相談... 9日 ・23日
- ・交通事故相談... 10日
- ・登記相談... 19日
- ・人権身の上相談... 26日
- 五日市出張所
- ・法律相談... 4日
- ・行政相談... 24日
- 時間 午後1時30分～4時30分
- 予約 法律相談は、相談日の7日前の午前8時30分から電話で受け付けます。その他の相談は、随時受け付けます。
- 予約・問合せ 市民課市民相談窓口係（直通558-1216）

みどり体験交流事業「小宮ふるさと自然学校」開校

都会に暮らす小学生が小宮小学校に宿泊して、森林レンジャーあきる野と一緒に、あきる野の自然にどっぷりつかった2日間を過ごします。地域の皆さんや子どもたちとの交流も楽しみです。



市では、郷土の恵みの森づくりを推進し、社会全体で森を大切にする心を養うため、オール東京62市区町村共同事業として、みどり体験交流事業「小宮ふるさと自然学校」を、7月26日・27日の1泊2日で開校します。

都内在住の小学校4年生から6年生の子どもたち30人が、小宮小学校に



宿泊し、戸倉城山に登り、秋川の清流で遊び、和紙づくり（軍道紙）を体験します。軍道自治会の皆さんや小宮小学校の子どもたちと一緒に植樹などの交流イベントも行います。地域の皆さんには活動へのご協力とご支援をお願いします。

○問合せ 環境の森推進室